



1945



終戦翌日に皇居前にひざまづく人びと
東京都千代田区 昭和20年(1945)8月16日
石川光陽撮影



めんこ遊び
場所不詳 昭和14年(1939)2月頃
沼野謙撮影 日本写真家協会(JPS)提供

1939

昭和館開館20周年記念写真展

昭和の世相

～写真が語る戦中・戦後～

入場
無料

1951



羽田空港に到着した吉田茂首席全権と出迎える人びと
東京都大田区 昭和26年(1951)9月14日
ディミトリー・ボリア撮影 マッカーサー記念館提供

令和元年

9.14_土 ~ 12.15_日



会場：昭和館2階ひろば
開館時間：10:00～17:30(入館は17:00まで)
休館日：月曜日(祝休日の場合は翌日)
後援：千代田区 千代田区教育委員会



大日本国防婦人会のたすきをかけた女性たち
東京都(推定) 昭和7年(1932)~17年



薪運びをする子どもたち
長野県上田市(旧・浦里村) 昭和19年(1944)6月9日
渡辺豊貞撮影



買い出し列車
東京都豊島区 昭和20年(1945)11月頃
菊池俊吉撮影



子守りをしながらけん玉で遊ぶ子ども
東京都 昭和22年(1947)~27年
ディミトリー・ボリア撮影
マッカーサー記念館提供



大阪駅前のタクシープール
大阪府大阪市北区 昭和38年(1963)12月
太田峻三撮影



銀座を歩くミニスカート姿の女性たち
東京都中央区 昭和44年(1969)5月
持田晃撮影

昭和館開館20周年記念写真展

昭和の世相

～写真が語る戦中・戦後～

今年の5月1日、時代の節目を迎えました。元号は「令和」へ変わり、「昭和」と同じ「和」の文字が入ったことでも話題になりました。

昭和時代の幕開けは、第一次世界大戦後の反動不況や関東大震災などによる被災で、経済状況は芳しくなく、重苦しい雰囲気にも包まれていました。

昭和12年(1937)に始まった日中戦争を機に生活のあらゆる面で戦意高揚がはかられ、経済統制も厳しさを増していきました。さらに、16年12月に太平洋戦争が始まると、生活はますます窮屈になり、人びとは我慢を強いられる苦しい時期を過ごしました。

空襲などにより多大な被害と犠牲者を出した戦争は、20年8月15日に終わりました。人びとは廃墟と化した中から復興に向けて歩み出し、約7年間にわたった占領期を乗り越え、30年代になると「もはや戦後ではない」の言葉に象徴されるように日本経済は急成長を遂げていきました。

新しい時代を迎え、遠い時代になりつつある激動の昭和、本展では戦中・戦後の移り変わりを「子どもの世界」「装い」「乗り物」「話題となった出来事」をテーマに当館が所蔵する写真から振り返ります。

大きく変化を遂げた戦中から戦後の写真を通して、その時代の空気を感じていただければ幸いです。



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575
ホームページ <https://www.showakan.go.jp>
<https://twitter.com/showakankudan>
<https://www.facebook.com/showakankudan/>

- 交通のご案内 **電車ご利用の場合** 地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4出口)
JR飯田橋駅から徒歩約10分
- 車をご利用の場合** 首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
普通乗用車専用駐車場がご利用になります。
- 有料駐車場 (30分200円)

